

事業用地取得に向け事業説明会を開催 =下谷=

7月5日(木)に下谷(しもたに)第2砂防堰堤【揖斐川町東津汲(ひがしつくみ)】の建設に向け、事業説明会を開催しました。説明会では、第2堰堤の計画を説明し地権者や地元住民の方のご理解を得ることができました。その後、今後実施する用地調査から用地取得に至る説明を行い、引き続きご協力いただくことをお願いしました。

下谷は西濃豪雨で土石流が発生

下谷は平成20年9月の西濃豪雨により土石流が発生し、地域の生活や経済活動に欠かすことの出来ない国道303号等に土砂が流れだし、多大な被害が発生しました。



至 横山ダム

R303への土砂流出状況



土砂と共に流木も流出

土石流発生を受けて、下谷の土砂災害を軽減するため下谷第1砂防堰堤(堰堤高:H=13.0m 形式:重力式コンクリート堰堤)を設置しました。



下谷第1砂防堰堤(平成22年11月完成)

交通安全講習会を開催

7月4日(水)に事務所会議室において、揖斐警察署 小倉交通課長を講師として招き交通安全講習会を開催しました。講習会には、事務所職員の他に近隣事務所の職員や工事及び業務受注者を含めた総勢29名が参加しました。

揖斐郡内で発生している交通事故の特徴や雨天時の運転等について具体例を交えて講義があり、参加者は熱心に聴講して交通安全に対する意識を高めました。



揖斐警察署
小倉交通課長

第2堰堤は鋼製透過型砂防堰堤

今回計画した第2堰堤は第1堰堤の上流に設置し、堰堤高H=14.5mの鋼製透過型砂防堰堤で、中小洪水では水と共に土砂を下流に流し、土石流発生時には土砂や流木を止める構造となっています。



第2堰堤のイメージパース

ここからは用地担当職員が主動

説明会で地権者等から了解が得られた為、事業用地の取得に向けた事務手続きは、用地担当へと引き継がれます。

まずは、法務局等で権利者を調査・特定し、その後現地にて境界立会を実施します。これは、後に必要となる登記手続きに関連する重要な作業となり、調整能力が求められます。

立会を終えると、用地測量にて支障面積、立木調査にて樹種や本数を確定し、補償金額を算定します。その算定額をもって、いよいよ用地交渉を開始します。ここから先が用地担当の大変なところであり、大切な用地を譲っていただくために地権者宅にお伺いする日々が始まります。

夜叉ヶ池が山開きしました

6月30日(土)に夜叉ヶ池(岐阜坂内ルート)の山開きがありました。今冬の豪雪の影響で例年より約1ヶ月ほど遅れての山開きとなったそうです。

詳細はこちら↓ (事務所HPへ)

<http://www.cbr.mlit.go.jp/etsumi/topics/yasyagaike120630.pdf>



神秘的に水を湛える夜叉ヶ池

山開きを満喫した登山者



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信のご意見・ご感想もお待ちしております。

発行 国土交通省中部地方整備局

越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所

〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3

Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626

E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp